

# 教育やまなし

2011 (平成 23 年)

6

No. 235

◎特集 1 / とびだせ美術館！～アート種のまきワークショップ～

◎特集 2 / 巨摩高校における N I E 推進事業の紹介

- ふるさと山梨郷土学習推進事業の紹介
- 「地域連携ものづくり人材育成事業」について
- 「エネルギー教育実践校」の取り組み
- 平成 24 年度山梨県公立高等学校入学者選抜の基本事項について
- 夏の特設展「手紙を書こう 作家の手紙をお手本に」
- ミュージアム甲斐・ネットワーク / えほんミュージアム清里、ぶどうの国文化館
- らくがき 韮崎高等学校 河手由美香 教諭  
富士見支援学校 三神正裕 教諭
- 考古博物館・文化財活用研修と各種事業の紹介
- 学校紹介 / 笛吹市立春日居中学校、県立笛吹高校
- 総合教育センター情報 / 学校教育を支援する研修会を目指して
- 県立博物館 / 博物館を利用した夏休み自由研究プロジェクト
- 県立図書館 / 「レファレンスの小道具 自分の生まれた日が、何曜日だったか知りたい」
- 山梨の文化財 / 国指定史跡 富士山
- 主な行事予定



特集 1

# とびだせ美術館！ ～アートの種まきワークショップ～

— 山梨県立美術館 —

山梨県立美術館では、お子様から家族連れ、どなたでもぶらっと来ても楽しめる教育普及事業をたくさん予定しております。その中でもおすすめはこれ！

「とびだせ美術館！」

～アートの種まきワークショップ～

◆県立美術館の参加型教育美術展です。

美術館から飛び出して何をやるの？種まきって何か育てるの？ワークショップっていったい何？昨年から始まった参加型教育美術展「とびだせ美術館！」はワークショップの実施とワークショップで生まれた作品を展示する作品展「みなび展」で構成されています。

◆誰でも参加できます。

子どもも大人も障がいを持っている方もアーティストも誰でも同じ立場で楽しめます。一歳に満たない子どもが絵の具で遊んだり、年配の男性がとんがり帽子をかぶって歌って踊ったり、その日、その時集まった人が心を開きつながります。その一体感が病みつきになり毎回参加のご家族もいます。

◆県内各地で開催予定

六月から翌年二月まで県立美術館だけでなく県内各地でいろいろなワークショップを行います。皆さんのお住まいの地域にも行きます。季節と空気を共有しましょう。

後半につきましては内容を検討中ですので、七月頃学校に配布予定です。

◆参加方法

開始時間までに開催地にお集まりください。申込は不要、作品展案内の通信費として一グループにつき五〇円いただきます。

(定員一五〇名程度)

◆今年、八月までのテーマは「山」

画家の櫻井孝美さんを講師にいろいろな場所から見える富士山を描きます。山梨県民にとつて一人ひとりの心の富士山は違ってきます。どのような作品ができるのか、どのように作品を共有するのか、いろいろな表現方法で富士山を語りましょう。

みんなのまに  
出かけます！



2011  
とびだせ美術館!  
アートの種まきワークショップ

開催予定日	開催予定地・内容
6月23日(木)	山梨県立美術館 障がい者のためのWS
6月25日(土)	山梨県立美術館 山を描く
7月24日(日)	北杜市立日野春小学校 山を描く
7月27日(水)	富士河口湖町立大石小学校 山を描く
7月30日(土)	山梨県立美術館 森の生き物(仮)
8月7日(日)	山梨県立美術館
10月15日(土)	中富総合会館
11月23日(水・祝)	大月市立猿橋小学校
12月23日(金・祝)	山梨県立美術館
2月11日(土)	街の駅やまなし



「いっぱい描こう」 2010.11.27 街の駅やまなし

### ◆みなび展

昨年の十月以降と今年の七月までに行うワークショップの作品展です。昨年の十月の「ちっちゃな幸せ+織って+つながって=おっきな幸せ」(三代校舎ふれあいの里、講師、村岡由季子さん)、十一月の「いっぱい描こう」(街の駅やまなし、講師、チームコスモス)、今年二月の「文字を楽しもう」(貢川小学校、講師、石原美歩・清水裕美さん)でできた作品も展示します。  
\*会期中、ミニワークショップ開催！

### 会場・会期・時間

県立美術館県民ギャラリーC  
八月三日(水)～十四日(日)  
午前九時～午後五時・月曜休館  
入場無料

### 問い合わせ先

山梨県立美術館内  
とびだせ美術館実行委員会  
電話 ○五五―二二八―三三三二二  
FAX ○五五―二二八―三三三二四

### スタッフ募集

(要問合せ)

参加するだけでなく、自分も運営にかかわりたい、興味があるという方、大募集です。毎年、職場体験として参加してくださっている方々もいます。夏休みの部活動の一環として、職場体験としていかがですか。



「ちっちゃな幸せ+織って+つながって=おっきな幸せ」  
2010.10.23 三代校舎ふれあいの里

### \*造形広場 午後一時三十分～

山梨学院短期大学保育科教授伊藤美輝先生と専攻科学生による造形あそび。  
七月九日(土) 八月十三日(土)  
八月二十七日(土)

対象 幼児以上、申込不要・無料

### \*子ども映画会

八月二十七日(土) 午前十時～

申込不要・無料

### \*夏休み親子美術探検隊

保護者の方と一緒に普段見ることのできない美術館の裏側をのぞきます。  
七月二十三日(土)

午前十時三十分～十二時

対象 小学一～三年生とその保護者

要申込・無料

### \*夏休みワークショップ(半日コース)

お休みの日の美術館、びっくりがっぴいの子どものだけのワークショップ  
八月一日(月)

午前九時三十分～十二時

対象 小学四～六年生 要申込・無料

### \*夏休みワークショップ(中学生コース)

午前は半日コース、午後からは学芸員体験ができる一日のワークショップ。  
八月一日(月)

午前九時三十分～十二時

要申込・無料

### \*教師のための鑑賞研究会

八月四日(木) 午前十時～十二時  
要申込・無料

問い合わせ先 県立美術館

電話番号 ○五五―二二八―三三三二二

# 巨摩高校におけるNIE推進事業の紹介

— 県立巨摩高等学校 —

## ◇はじめに

巨摩高校は、平成二十二・二十三年度に、日本新聞教育文化財団から、NIE (Newspaper in Education) の実践指定校に認定され、新聞を授業で活用する取り組みを推進しています。昨年度の実践について、次のような形で紹介します。

- ①・② 外部講師による研修・講演
- ③・④ 学年としての取組
- ⑤～⑧ 教科としての取組
- ⑨ 係としての取組

## ①アドバイザーを招いての研修会

**\*教員対象** NIEアドバイザーの中山友江先生をお招きし、教員を対象にした研修会を行いました。豊富なご経験の中から具体的な実践例を紹介していただき、今後の指針を得ることが出来ました。

## ②現場記者を招いての講演会

**\*生徒対象** NIE推進協議会を通して現場の新聞記者にご来校いただき、講演会を開催いたしました。記事が出来るまでの苦労や工夫を聞くことにより、生徒は新聞に対する関心を高めることができました。



現場記者による講演会

## ③修学旅行の事前学習としての活用

**\*二年生全員** 前期は、新聞記事を使った旅行通信の発行から始めました。沖縄関係の記事にコメントを添え20号程発行しました。沖縄はもとより、記事の背後に広がる社会全体に目を向けさせることが目的です。

後期には、二年生全員に自ら新聞を作る課題を出しました。それぞれが気になる沖縄について調べ、新聞形式でA3用紙にまとめるといっ



手作り新聞の掲示

す。紙面構成に関する勉強をした後は、オリジナルな新聞作りを目指しました。事後アンケートからは、生徒の満足した様子がうかがわれ、自ら情報を発信することの難しさと楽しさを味わったようでした。優秀作品は廊下や昇降口に掲示し、皆で読み合いました。

#### ④ 時事問題を取り上げ

##### 話し合わせる取組

**\*一年生全員** 新聞には、時に大きな事件が何ヶ月にも渡って掲載されることがあります。一ヶ月にも及ぶ記事を追いつき、自国の外交や安全について深く考えさせ、話し合わせる実践を行いました。扱った内容は、尖閣諸島の漁船衝突問題です。総合的な学習の時間を使用しました。

まず、概要把握です。財団から提供された新聞を一人に一紙ずつ配って分担させ、時系列でまとめさせました。新聞をまるごと一紙読む楽しさも体験させました。

その後、事件に関する特集記事をいくつか配布し、その背景やアプローチの視点などについて学びました。

最後に、日中両国の対応についてクラスで話し合いをしました。事後の感想文からは社会に目を向ける契機となったことや、国と国との信頼関係について考えた様子がうかがえました。

#### ⑤ スクラップ記事の発表

**\*地歴公民科** 夏季休業中の課題に新聞のスクラップを出しました。その発展として、二年生の現代社会の授業で、一週間毎に気になる記事や投書についての意見を書かせ、数名ずつ授業の始めに発表させました。班毎に話し合わせたり、相互批評を行ったりしました。

#### ⑥ 記事の専門用語を

##### 学習により解明していく取組

**\*理科** 二年生の遺伝の単元の導入として関連する新聞記事を提示し、そこに使われている専門用語で分からない語（ラベル）を抽出させ、単元の学習後にその言葉を説明させるという構成で行いました。生徒のつまづきを確認するのにも有効でした。

今後は、新聞記事に紹介されている科学トピックスを授業に取り込み、最先端の科学的知見に興味関心を持たせる方法を模索していきたいと考えています。

#### ⑦ 英文によるローカルニュースの活用

**\*英語** 二年生の英語で、英文による県内ニュースを使い授業を行いました。まず、時間を決めて速読をさせ、内容についてQ&A方式で確認する方法です。次の授業時には、英文に簡単な部分注釈をつけ提示し、最後の時間には、簡単な文法説明と語彙の説明を加えました。ひとつの英文記事について毎回十五分ずつ行いました。ローカルニュースは生徒にとっても親しみ易く、教材としても有効であると考えます。

#### ⑧ 授業内容に直接関わる記事の活用

**\*家庭科** 三年生のフードデザインの授業で、関連する記事を活用して生徒に考えさせる授業を

行いました。まず、アンケートにより自分の体型に対してのとらえ方を把握させ、新聞記事を活用してやせすぎのデメリットについて考えさせ、自分の食生活を見直させるという流れでした。

今後は、新聞を中心教材としてじっくり取り組む授業研究を進めていきたいと考えています。

**\*保健体育科** 一年生の保健の授業で、既習内容に関連した新聞記事の一つずつ持ち寄せ、班で話し合わせ、最も興味あるテーマについてインターネットで調べさせレポートを作成させました。

今後は、パワーポイントを使った発表まで行いたいと考えています

#### ⑨ 毎日の社説やコラムの紹介

**\*進路指導係** 進路室入り口と生徒昇降口付近に新聞スタンドを設置し、その日の社説とコラムのコピーを毎日印刷して置きました。さらに、面接や小論文必出のキーワードについては、新聞の特集記事もあわせて掲示しました。



社説やコラムの紹介

# ふるさと山梨郷土学習推進事業の紹介

## — 義務教育課 —

### 1 事業の目的

この事業は、二十一世紀を担う山梨県のすべての子どもたちに、郷土への関心を深め、郷土を愛し、郷土への誇りをもてるような心情をばぐくんでいくことを目的としています。また、知事の提唱する「やまなしブランド戦略」を受けて、山梨のよさを知り、山梨のすばらしさを発信できるような子どもを育てることもねらいとしています。

### 2 事業の内容

山梨県教育委員会が平成二十年三月に刊行した郷土学習教材『ふるさと山梨』を活用し、社会科や理科といった教科、道徳、特別活動などの場で郷土学習を進めています。この教材は、広く県民のみなさんに、山梨のことをより深く知ってもらえるように、県内の小・中学校や公立図書館、県立の博物館等にも配布されています。

以下、事業の内容を紹介します。

#### ○郷土学習推進会議

この会議は、学識経験者や教育関係者で構成され、①『ふるさと山梨』を活用した郷土学習の推進、②ふるさと山梨郷土学習コンクールの開催、作品

の審査・表彰、③ふるさと山梨郷土学習実践研究発表大会の開催など、本事業を中心となって進めています。

#### ○ふるさと山梨郷土学習コンクール

県内の小・中学生を対象に、郷土学習教材『ふるさと山梨』を活用した、山梨の歴史や文化などについて、調査・研究を行った作品を募集します。小学生は低中学年部門と高学年部門、中学生は風（自然）、林（地歴）、火（文化・芸能）、山（山梨の未来など）の四つの部門で募集しています。

これまで実施した3回の郷土学習コンクールには、2000点近い研究作品の応募がありました。応募された研究作品は、年々充実してきており、児童・生徒の研究内容や表現方法も工夫されたものが増え、郷土への誇りを培う学習が着実に広がりを見せていることがわかります。

入賞作品は、山梨県立博物館で展示されます。また、これまでの入賞作品、郷土学習指導資料などは、義務教育課のホームページに掲載しています。

#### ○ふるさと山梨郷土学習実践研究発表大会

この発表大会では、郷土学習コンクール入賞者

表彰、大賞作品の実践発表を行うとともに、県内小・中学校の優れた郷土学習の実践発表などを行っています。

今年度は十一月二十二日（火）に山梨県総合教育センター大研修室で行います。

本事業も四年目を迎え、新たな視点や方法で進められるような取組を計画しています。先生方や子どもたちには、郷土学習教材『ふるさと山梨』を大いに活用して、山梨についての知識や愛着を深める学習をさらに進めるとともに、郷土学習コンクールへの積極的な応募や、郷土学習授業の取組を行っていただきたいと考えています。この事業への取組をとおして、「やまなしの教育振興プラン」の基本理念である、「ふるさとを愛し、世界に通じる人づくり」をさらに推進していきたいと考えています。



# 「地域連携ものづくり人材育成事業」について

(文部科学省と経済産業省との連携プロジェクト「クラフトマン21」の後継事業)

— 高校教育課 —

## 【概要】

平成十九(二十一)年度にかけて、山梨県が文部科学省と経済産業省の委託を受けて行った地域産業の担い手を育成するプロジェクト(通称クラフトマン21)の研究成果をもとに、平成二十二年度から、県単独事業「地域連携ものづくり人材育成事業」を立ち上げました。本事業では、対象となる工業系高校を三校から六校に増やし、機械系だけの取組から電気系・環境系を加えた全ての学科で実践研究を行うことにしました。実施期間は三年で、その内容には地元企業と連携して、生徒が企業でおこなう実習や高度熟練技術者による実践的な授業、教員の技術力・指導力の向上を目的とした企業研修等があります。また、研修・研究過程においてP D C Aサイクル型問題解決能力の醸成と地域産業を担う実践的技術を有する人材育成に努めています。

## 【目的】

- 地元企業の担い手の育成
- 工業系高校生を対象に半導体製造装置・産業用ロボットに関わる基盤的技術の習得を目的とした教育プログラムの開発
- 工業系高校と企業が連携して、問題解決能力を身につけた人材の育成
- 高校生の技能検定合格者数の増加

## 【実践研究】

各高校においては、教育課程の進度に合わせて、学習内容の精選や学習指導の方法・評価の見直しを行います。また、企業側においては生徒の技術レベルに応じた実習内容を検討し、新しい技術を身に付けさせるための連携事業を行います。

## ①生徒の企業実習

工業系高校生が地元の企業現場の実情を認識で

きるように実践的実習を実施したり、企業の技術者による工業管理技術等に関する講義を行います。

## ②技術者等による学校での実践的指導

工業系高校生の技能向上と実践力の育成を目指して、企業の技術者による技能検定講習会を実施したり、教員と技術者によるチームティーチングの在り方について研究しています。

## ③教員の高度技術習得

工業技術教育を担う教員の技術スキルや指導力の向上を目的として、企業での講習会や研修会を実施し、教員の企業理解も図っています。

## ④企業と高等学校の共同研究

都留市と谷村工業高校が、小水力発電を活用した植物工場の研究をしたり、他校ではソーラーパネルや電気自動車用バッテリー等の研究をしたりしています。また、昨年度は、トヨタ自動車(株)が甲府工業高校において、全国初の燃料電池の組立及び分解に関する授業を実施しました。

## ⑤その他の取り組み

- ・ 工業系高校生が講師となり小中学校の児童生徒及び保護者にもものづくりの面白さを紹介
- ・ 小中学校を訪問して出前実験授業の実施
- ・ 小中学生を高校へ招待して、公開授業や文化祭の公開実験を実施

## 【事業の成果と課題】

### ①成果

- ・ 近年の県内有効求人倍率が低迷する中で、平成二十(二十一)年度の工業系高校卒業生の就職内定率は100%を維持しています。
- ・ 県内製造業就職者数が平成二十一年度の約三倍に増加しました。

平成二十一年度と比べて協力企業は約三倍増、参加生徒数は一・四倍増となり、生徒のものづく

りに対する意識が向上しています。

- ・ 技能検定三級合格率は約七十八%で、合格者数は平成二十一年度の約一・六倍増となりました。
- ・ ものづくり人材育成に関する山梨県内での産学官のコンソーシアムを構築することができました。

### ②課題

- ・ 事業展開の回数の増加を図るために、協力企業を開拓する必要があります。
- ・ 実習設備の老朽化や台数の不足への対応が必要になります。
- ・ 地元に着着した共同研究の実践を進める必要があります。

## 【概要図】



# 「エネルギー教育実践校」の取り組み

— 山梨県立韮崎工業高等学校システム工学科 —

## 一 はじめに

本校では平成二十年度より二十二年度までの三年間、経済産業省資源エネルギー庁主催の「エネルギー教育実践校」の研究活動に取り組みました。平成二十年には、今まで二〇〇三〇ドル／バレルで安定していた原油価格がいきなり一六〇ドル台になり、その後の経済ショックで四〇ドル以下に下落しましたが、今また一〇〇ドル台を突破してきました。価格だけでなく環境、埋蔵量（今までのペースで使い続けると二十年以内に石油は枯渇する）の問題など化石燃料には多くの課題が山積しており、省エネルギー・エネルギー源の多様化は避けて通れない問題になっています。

## 二 実践内容

○実践一（全校生徒・職員への啓発）

- ・ 火力、水力、原子力発電所の見学
- ・ 講演会の実施
- ・ エコキャップ回収、グリーンカーテン製作
- ・ 校内新聞の作成

○実践二（工業高校の物作り技術を活かしたエネルギー教育）

- ・ 省エネカーの製作
- ・ リットルのガソリンで何km走れるかを競う競技に出場。

・ バッテリーカーの製作

一定容量のバッテリーで何km走れるか競う競技に出場。

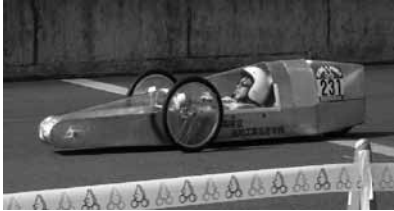
- ・ BDF製作によるディーゼルエンジンの稼動
- ・ 小規模水力発電装置の製作
- ・ トレースソーラーカーの製作
- ・ ロボコン山梨に出場し、優勝
- ・ ヴァンフォーレ甲府マスコットカー（ソーラーカー）の製作

省エネカーの技術を使って、軽量のバッテリーカーを製作。

○実践三（地域へのアピール）

- ・ 物作り教室を通して省エネ・環境教育
- ・ 風やゴム動力を使ってエコなオモチャの製作と啓発授業を実施。

・ 校内、近隣中学校での課題研究発表会



ホンダエコノパワー燃費競技全国大会に出場。1183km／リットルの記録を達成（2009年10月）



ヴァンフォーレ甲府マスコットカー（ソーラーカー）を製作し、ヴァンフォーレ甲府の1部昇格と省エネを小瀬競技場でアピール（2010年11月）

## 三 考察

○エネルギーシフト、環境問題を取り上げていく中で、電気科以外の生徒も電気エネルギーの重要性を認識し、電気工事士の資格に挑戦する生徒が増えています。ハイブリッドエンジン搭載車や電気自動車が将来主流になるため、本学科生徒の半数には、電気関係の資格取得をさせたいと考えています。

○エネルギー問題は、非常に深刻な問題ですが、高度・広範囲の内容であるため、身近なこととしてとらえにくい状況にあります。今は、エネルギー環境教育情報センターより多くのデータをいただいています。本研究活動で製作した機器、機械を利用して、差し迫ったエネルギー・環境問題について、授業でも取り上げていきます。



# 平成二十四年度山梨県公立高等学校入学者選抜の基本事項について

## — 新しい学校づくり推進室 —

山梨県教育委員会は、去る五月十六日に平成二十四年度の入学者選抜に関する基本事項を公表しました。

山梨県教育委員会は、去る五月

十六日に平成二十四年度の入学者選

抜に関する基本事項を公表しまし

た。

入学者選抜制度の主な特徴は、次のとおりです。

一 住所に関係なく、どの学校にも志願できます。

二 「前期募集」と「後期募集」の二度の受検機会があります。

三 「前期募集」では、自分の興味・関心、特性を生かした受検ができます。

四 「後期募集」では、志願先高校に普通科、専門教育学科又は総合学科が設置されている場合、志願する学科のほかに第二希望まで志望順位を付けることができます。

平成二十四年度入学者選抜の概要は次のとおりです。

### 一・全日制前期募集

#### ① 検査方法

面接のほか、各高校が定める作文、特技、個性表現のいずれかを併せて実施します。

#### ② 出願期間

平成二十四年一月十八日（水）から一月二十日（金）

#### ③ 検査期日

平成二十四年二月一日（水）、二日（木）

#### ④ 入学許可予定者の内定日

平成二十四年二月九日（木）

### 三・全日制再募集

#### ① 検査方法

面接のほか、作文又は新たに行う学力検査を実施します。

#### ② 出願期間

平成二十四年三月十四日（水）から三月十六日（金）

#### ③ 検査期日

平成二十四年三月十九日（月）

#### ④ 入学許可予定者の発表

平成二十四年三月二十一日（水）

### 五・定時制再募集

#### ① 検査方法

再募集に当たつての学力検査及び面接を実施します。

#### ② 出願期間

平成二十四年三月十九日（月）、三月二十一日（水）、三月二十二日（木）

#### ③ 検査期日

平成二十四年三月二十三日（金）

#### ④ 入学許可予定者の発表

平成二十四年三月二十七日（火）

### 二・全日制後期募集

#### ① 学力検査

国語、社会、数学、理科及び英語（リスニング含む。）を実施します。

#### ② 出願期間

平成二十四年二月二十日（月）から二月二十二日（水）

#### ③ 検査期日

平成二十四年三月七日（水）

#### ④ 入学許可予定者の発表

平成二十四年三月十四日（水）

### 四・定時制入学者選抜

#### ① 検査方法

学力検査及び面接を実施します。

#### ② 出願期間

平成二十四年二月二十日（月）から二月二十二日（水）

#### ③ 検査期日

平成二十四年三月七日（水）、八日（木）

#### ④ 入学許可予定者の発表

平成二十四年三月十四日（水）

### 六・その他

① 詳細については、別に定める「平成二十四年度山梨県公立高等学校入学者選抜実施要項」によります。（十月下旬公表予定）

② 平成二十四年度入試の募集定員は、中学校卒業予定者の進路希望調査などを考慮し、十一月上旬に決定する予定です。

## 夏の特設展 「手紙を書こう 作家の手紙をお手本に」

— 県立文学館 —

夏休み期間中、親子で楽しんでいただくための展覧会です。

誰でも手軽に、電話やメールでやりとりをする現代、私たちが手紙を書く機会は少なくなっているかも知れません。しかし、ペンや筆で、便箋や葉書にしたためた直筆の手紙には、独自の味わいがあります。

作家が書いた手紙を見ると、お礼の手紙や励ましの手紙、旅先からの手紙、絵を添えた手紙や年賀状など、それぞれの場面・状況に応じて、色々と工夫をしている様子が見えてきます。

写真は、詩人で作家の室生犀星が、山梨県の俳人飯田蛇笏から句集『山廬集』を贈られた時に書いたお礼の手紙です。

『山廬集』は、一九三二（昭和七）年十二月、蛇笏が四十七歳の時に初めて刊行した句集です。手紙は、刊行間もな



い十二月二十八日の日付ですから、犀星は本を受け取つてすぐに、この礼状を出したのでしょう。

犀星はまず、句集の最初の頁に載っていた「わらんべの溺るるばかり初湯かな」（あふるゝばかり）と書いたのは犀星の誤りの俳句について「大にさんせいしました」と共感を素直に伝えています。「新春暇あり 勉強のために拝どくいたします」という結びの言葉は、正月は『山廬集』を読んで過ごすという意味ですから、蛇笏にとつては何より嬉しい言葉だったに違いありません。横長の和紙に赤い罫線が入った洒落た用紙には、お正月を控えたためだたい気分が滲み出ています。

このほか、恋心を切々とつづつた樋口一葉の手紙、一九一〇（明治四十三）年のハレー彗星を水彩画で描いた野尻抱影の葉書など、さまざまな手紙を展示します。作家の手紙をお手本に、手紙を書く楽しさ、読む楽しさ、気持ち伝えるためのヒントをご紹介します。

◇会 期 七月二十三日（土）～

八月二十八日（日）

◇観覧料 常設展観覧券で観覧できます

一般 三二〇（二五〇）円  
大・高生 二一〇（一六〇）円  
中・小生 一〇〇（八〇）円

※（ ）内は二十名以上の団体料金、宿泊者割引料金です。

※県内の小・中学生は四館フリーパスポート持参で無料。

※小・中・高等・特別支援学校生は土曜日は無料。また六十五歳以上の方、障害者及び介護者は無料。

### 【関連イベント】

◇子どもワークショップ「暑中見舞いの書き方」

日 時 七月二十四日（日）午後一時三十分～午後三時三十分

講 師 青少年ペンフレンドクラブアドバイザー

会 場 研修室（定員二十名）

電話かファックス（氏名・電話番号を明記）でお申し込み下さい。

電 話 〇五五―二三五―八〇八〇

FAX 〇五五―二三六―九〇三二

### ◇名作映画鑑賞会・アニメ

七月十六日（土）「ムーミン谷の彗星」

七月三十一日（日）「アンデルセン物語」

八月二十一日（日）「おむすびころりん」

「おぼ捨て山の月」

会場は講堂、定員五百名、入場無料、申し込み不要。

※ワークショップや映画会に参加してスタンプを集めると記念品がもらえます。

## ミュージアム甲斐・ネットワーク

～県内博物館等の連携による活動の活性化と利用者サービス向上を目指して～  
— 学術文化財課 —

県内の美術館、博物館等が、相互に連携して活性化を図り、活動の充実や利用者へのサービスの向上を目指す「ミュージアム甲斐・ネットワーク」会員施設の紹介をします。

### えほんミュージアム清里 (北杜市)

えほんミュージアム清里は、国内外の絵本の原画を展覧する絵本美術館として、1997年4月にオープンしました。以来、開館期間を通して年3回ほど開催される企画展、そしてイギリスの絵本作家、エロール・ル・カインの作品を展覧する常設展を通して、絵本の世界のすばらしさをご紹介します。

印刷物では味わえない筆の勢いやタッチ、絵そのものから感じられる迫力や存在感、輝きなど、原画ならではの魅力を実感していただきたいと思います。

絵本は世代を越えて楽しむことのできるもの。

ミュージアムを取り囲む自然を感じながら、ゆったりとした

ひと時を皆さまで楽しんでいただければ幸いです。

住 所：北杜市高根町清里 3545-6079

電話番号：0551-48-2220

担 当 者：小山

休 館 日：火曜日（祝日の場合は翌日）、冬季休館（1月中旬～2月末）※7・8月は無休

入 館 料：小中学生400円、一般700円

駐 車 場：無料（普通20台、バス1台）

U R L：<http://www.ehonmuseum-kiyosato.co.jp>



外観



展示室



ミュージアムショップ

### ぶどうの国文化館 (甲州市勝沼町)

ぶどうの国文化館は、勝沼のぶどうとワインに関する歴史を学習することができます。

約1300年前にシルクロードを経て日本に伝わったというぶどう栽培の歴史、古代から伝わる行基や雨宮勘解由などの勝沼に残るぶどうに関する様々な伝説、甲州街道勝沼宿でぶどうが商品として扱われていた様子、明治時代にワイン醸造の技術習得のためにフランスへ渡った二人の青年のエピソード等を、ロウ人形を用いてわかりやすく再現しています。

また、実際に用いられていた「勝沼のぶどう栽培用具及び葡萄酒醸造用具」（国登録有形文化財）500点を展示しています。

そのほか、「藤切りの祭」の記録映像や、近年、宮光園から

発見された大正時代のワインの製造～出荷過程を記録した映像もご覧頂けます。

住 所：甲州市勝沼町下岩崎 1034

電話番号：0553-44-3312

担 当 者：飯島・入江

休 館 日：月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始

開館時間：9:00～17:00（入館は16:30まで）

入 館 料：無料

駐 車 場：無料（普通50台）



ぶどうの国文化館外観



ロウ人形によるリアルでわかりやすい展示



ぶどう栽培用具・葡萄酒醸造用具



らくがき



「希望」  
河手 由美香

大震災の翌日、認知症の両親の通院に付き添いました。両親と似た症状の高齢の方々が集う待合室は、いつも喧噪の中ですが、この日は、どの患者さんも前方に置かれたテレビ画面に向かい、憤ましくされていました。戦争を生き抜いた方々は、繰り返し映る被災状況に、記憶の彼方にある復興への歩みを見ていたのでしょうか。

数々の震災のニュースの中で目に止まったのは、泥だらけの卒業証書を亡き子の代わりに受け取る父親の姿や、「まずは子どもを学校にやらねば」と授業再開に奔走する人々、そして、避難所でダンボールの机を囲み、勉強を教え合う子ども達の姿でした。命の瀬戸際においても学校や教育は人々の優先項目の上位にありました。それはとりもなおさず人々の希望にかける思いの表れだと感じました。被災地で献身的に活動する中高生の姿は、私にも希望の光に見えました。

生徒一人一人の存在こそが希望です。そんな気持ちで生徒と向き合う毎日です。

(県立韮崎高等学校)

「ルバーブのパイ」  
三神 正裕

小さな学校菜園で育てた野菜で春は豆ご飯、冬は漬け物やチゲ鍋、夏にはスペイン料理のガスパチョも作った。調理は病気を抱える生徒にも興味をもってもらえる。韓国のことに関心がある生徒には、えごまを栽培するところから始め韓国風の焼き肉をした。マフィンやレモンゼリー、クレープなど一人一人違うデザートを作りケーキバイキングをしたときは、どの生徒もいい表情だった。現在在籍している生徒の中には、ニンニク料理が作りたくて植えたニンニクが大きくなるのを心待ちにしている生徒がいる。

デュラムセモリナ粉を使って粉から生パスタを作ったときは少し失敗した。生地を寝かせる時間が短く太く堅い麺になってしまったからだ。生徒から「味はいいんだけど堅くて・・・吉田のうどん風パスタだね」の一言にみんなで笑った。

卒業生へのプレゼントにオレンジのマドレーヌをみんなで作った。今でもオレンジの香りがすると卒業していた生徒の顔が思い出される。

ちょっとした興味から出たことを現実にする楽しさが調理にはある。今年は「大草原の小さな家」の一節に登場するとても酸っぱいルバーブのパイを生徒と一緒に作ってみようと思う。

(県立富士見支援学校)

**考古博物館・文化財活用研修と各種事業の紹介**  
県埋蔵文化財センター

■考古博物館・文化財活用研修（教員対象）

県埋蔵文化財センターと県立考古博物館を、総合的な学習の時間等で、より多くの学校に積極的に活用していただくため、昨年度同様総合教育センターの外部共催研修「考古博物館・文化財活用研修」を8月9日（火）、11日（木）、17日（水）に開催いたします。

1日目は、考古博物館で施設見学、最新考古学の成果と教育プログラムの講義と火起こし体験を、2日目は、埋蔵文化財センターで考古資料の取り扱いと授業での埋蔵文化財活用法などの講義と土器作り体験を、3日目は、土器焼成、火起こし、勾玉作り、石器製作などの体験を行います。

3日間の研修を修了した受講者には、考古資料等の貸し出しをいつでも受けられる修了証を交付します。

■発掘体験セミナー（一般対象）

身近な埋蔵文化財に対する興味と関心を深め、地域学習に活用いただけるよう、夏休み期間中など、半日単位で実際の遺跡で発掘体験セミナーを行っております。

■考古資料貸出・出前支援授業（学校対象）

授業で児童・生徒に直接さわったりすることのできる遺物貸出キットを用意しておりますので、授業等で活用ください。また、職員が学校に出向いて火起こしや土器作り・石器作り・勾玉作りなどの体験型の授業を支援する出前支援授業も行っています。

このほかにも職場体験学習や講師の派遣なども行っておりますので、お気軽にお問い合わせください。

◆お問い合わせ先 県埋蔵文化財センター

電話 055-266-3016 FAX 055-266-3882

URL:<http://www.pref.yamanashi.jp/maizou-bnk/>

# インプットからアウトプットへ（授業づくり） 横の繋がりをつくる最高のチームに（学級づくり） 生徒をとりまく環境整備（全校体制）

## 笛吹市立春日居中学校

本校は、桃と葡萄と観光、湯の町として、恵まれた自然環境と人間社会の調和のとれた環境にある。歴史的文化的の香りの高い地域であり、教育への理解も深い。

本校の生徒は転入生を除き、義務教育の9年間を変わらない仲間と生活をするという種の特異性をもつ。生徒208名は、素直で、中規模ながら学習にも運動にも非常によく頑張っている。

入学式における生徒会長の歓迎の言葉も温かく心のこもった言葉であった。式に続いて生徒会の主催で行われた新入生歓迎会で聴いた合唱も、本校の伝統の成果をまさにみる思いだった。合唱は地域にも定評がある。

本校では、課題を抱える生徒を中心に、全校、全学年、全

学級において、「横のつながりを意識した教育実践」を行っている。課題は個々の学習面、生活面と多岐にわたるが、仲間・教師・学校としてのかかわりで、生徒に『生きる力』、とりわけ『確かな学力』の育成とともに、一人一人の個性と能力を、きらめき輝かせる教育実践に、全力で取り組んでいる。

### 具体的な取組内容

- ①ゆずり葉（学校通信）桃の里・絆・トゥギャザー（各学年通信）及び学級通信で家庭と繋がる
- ②活用の場面がある授業づくりと実践
- ③学習遅滞生徒への個別対応の時間確保
- ④家庭学習の手引き（ブロック研究の成果物）の活用・実践



新入生オリエンテーションで合唱する上級生



新たなスタートを意識して意欲を見せる1年生

# 4学科から成る総合制高校 笛吹高校 ～普通科・食品化学科・果樹園芸科・総合学科～

## 県立笛吹高等学校

### ◇笛吹高校が誕生

石和高校と山梨園芸高校とが合併し、平成22年4月に笛吹高校が誕生しました。校舎は、石和高校の敷地にあり、農場は山梨園芸高校と共有しており、実習時にはバスで移動しています。現在は、1・2年の笛吹高校生と、3年の石和高校生・山梨園芸高校生が1つの校舎で学んでいて、3種類の制服が混在しています。

### ◇各学科の生徒数（各学年300名）

普通科3クラス	120名
食品化学科1クラス	40名
果樹園芸科1クラス	40名
総合学科3クラス	100名

### ◇総合学科の系列

2年から、4系列、5コースに分かれます。  
環境・緑地、情報・観光、国際文化、人間科学（生活福祉・スポーツ科学）

### ◇部活動

単独チームや3校合同チームなど、様々な形態があります。

### ◇強化指定部

ソフトテニス（男女）・ライフル射撃（男）・  
自転車（男）・陸上（男）

### ◇校歌

石和高校の卒業生でレミオロメンの藤巻亮太さんが、作詞、作曲しました



東側から見た校舎



球技大会

# 学校教育を支援する研修会を目指して

## 総合教育センター教育指導部

二十一世紀は、グローバル化し、新しい知識・

情報・技術が政治・経済・文化をはじめ社会のあらゆる領域で活動の基盤として飛躍的に重要性を増す知識基盤社会の時代であると言われていま

す。このような知識基盤社会への対応やグローバル化は、知識そのものや人材をめぐる国際競争を激化させ、異なる文化との共存や国際協調が必要となつてきます。このような状況の下で、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和を重視する「生きる力」をはぐくむことは、ますます重要になります。並行して、平成十八年度末の教育基本法を

はじめ、次々と関連法案が改正され、平成二十年一月の中央教育審議会答申を踏まえて、平成二十年三月小・中学校、平成二十一年三月高等学校・特別支援学校の新学習指導要領が告示されました。そして移行期間を経て、本年度から小学校を皮切りに順次全面実施となつていきます。

この目まぐるしく状況が変化する中で、我々教師は、この変化を敏感に感じ取り、必要なことを各自学習し、日々の教育実践に反映させていくことが求められています。総合教育センターでは昨春秋に県下の全学校に、教育課題アンケートを実施しました。その中の一つの項目に「各学校の教育実践上の課題」があり、次の回答が寄せられています。上位十項目を示します。

- ① 「思考力・判断力・表現力の育成」
- ② 「学習意欲の向上や学習習慣の確立」
- ③ 「基礎的・基本的な知識や技能の定着」
- ④ 「言語活動の充実」
- ⑤ 「新しい学習評価の在り方」
- ⑥ 「キャリア教育の推進」
- ⑦ 「道徳教育の充実」
- ⑧ 「特別支援教育の推進」
- ⑨ 「不登校児童生徒への対応の在り方」
- ⑩ 「小学校外国語活動の推進」

本センターでは、これらの課題や所員の意見をもとに教育現場のニーズや教員のライフステージに合った研修会を提供できるよう、次の目標を立てて本年度の研修会を企画しました。

(1) 教職員の資質能力の向上に資する質の高い研修会を企画・実施する。

(2) 平素の教育活動に役立ち、指導に活用できる講座内容の構築に努める。

左の表に示すように、研修を新設（網掛け部分）したり、既設の研修を改編（傍線部分）し、より学校現場に役立つことを目指しました。多くの先生方の参加をいただけますようよりよろしくお願ひします。

総合教育センター研修	基本研修（必修研修）	① 管理職研修 新校長、新教頭	
		1 教育経営研修	
専門研修（希望研修）	1 主任等研修 新主幹教諭、新教務主任、中・高・特新学年主任、新研究主任、中学校新進路指導主事、道徳教育推進教師（道徳主任）、新生徒指導主事・主任、新特別支援学級担当、新特別支援教育コーディネーター、新防災教育リーダー、理科・視覚実習助手、小学校経験3年目教員理科指導力向上、県立学校PCリーダー、新期間採用	② 主任等研修	
		③ 初任者研修	
		④ 五年経験者研修	
		⑤ 十年経験者研修	
		2 経年研修	
	3 教科等研修 注：次の枠内は教科等を示し、具体的な研修会名は掲げてありません。 国語、社会、地理、公民、算数、数学、理科、生活、音楽、図画工作・美術、体育、保健体育、家庭、技術・家庭、英語、小学校外国語活動、産業教育、特別活動、総合的な学習の時間、道徳、高校情報、養護教諭が行うフィジカルケア、保健室での心のケア	3 教科等研修	
		4 教育課題研修 国際理解教育、環境教育、福祉教育、学校図書館教育、新聞の教育利用、食育、中国人・ブラジル人児童生徒指導者、校内研究の進め方Ⅰ～Ⅳ、地震防災対策、期間採用教員、学校評価とカリキュラムマネジメント、キャリア教育、学習評価、家庭・地域・学校連携教育、特別研修	4 教育課題研修
		5 教育相談研修 アドラー心理学、関係機関との連携の在り方、不登校の理解と対応、メンタルヘルス・ストレスマネジメント技法、教育相談実践	5 教育相談研修
		6 特別支援教育研修 特別支援教育専門、特別支援教育コーディネーター、心理検査法、関係機関との連携、特別支援教育の授業づくりⅠ～Ⅲ、通常学級における特別支援教育、重症・重複障害児の指導、障害児の医療的ケア、聴覚障害の指導、視覚障害の指導	6 特別支援教育研修
		7 情報教育研修 情報モラルⅠ～Ⅳ、電子黒板活用、ワゴンプロジェクター活用、パソコン音入門、ワード、表計算初級・中級、プレゼンテーション基礎、画像処理、データベース基礎、表計算を利用した校務処理、マクロプログラミング（Excel/VBA）Webサイト基礎、デジタル教材作成（PowerPoint・フリーソフト等）、ビデオ教材作成、ネットワーク基礎、サーバー構築（Windows）、小中情報教育担当者、県立学校PCリーダーフォローアップ、ピーチウェアフォローアップ	7 情報教育研修
8 外部共催研修 注：この研修は外部公的機関との共催研修です 理科実験工作、身近な自然の指導法、体験で学ぶ火山、環境とものづくり、国際協力NGOセミナー、学校とミュージアムの関係、山梨の考古学と埋蔵文化財活用、特別支援教育	8 外部共催研修		

※網掛けは新設を、傍線は改編した研修を示す。

総合教育センターでは、現下の教育課題を踏まえ、教職員の専門性や資質・能力の向上に役立つ、より質の高い研修の提供ができるよう今後も努めてまいります。

## 博物館を活用した夏休み自由研究プロジェクト ～夏休みの自由研究は、博物館がお助け！～

県立博物館

夏休みの宿題の中でも自由研究は、子どもたちだけでなく、お家の方や先生方にとってもやっかいな宿題のひとつかもしれません。「何を調べたらいいか思いつかない」とか「調べ方がわからない」など子どもたち自身の悩みや、「アドバイスが難しい」といった指導する側の悩みが尽きないことでしょう。

そこで活用していただきたいのが博物館施設です。県内には美術、歴史、科学、自然など様々な分野の博物館施設があります。展示や解説を見ながら自由研究のテーマを探ってみるといいと思います。館内



「夏プロ」会場の様子

の図書室で調べたり、専門職員に相談してみるのもいいでしょう。

一度にたくさんの博物館施設の内容を知りたいという人には「夏休み自由研究プロジェクト」（詳細下記）がおすすめです。県内の博物館施設が集まってワークショップを開催し、自由研究や工作のヒントを提供しています。

この他「夏休みなんでも質問箱」も開設し、子どもたちの質問に博物館が答えます。これらの実施の詳細は、7月に県内全小中学校に配布する「『交い』特別号」をご覧ください。自由研究で困ったら博物館へ。児童生徒のみなさんと先生方のお力になれると思います。

### 「夏休み自由研究プロジェクト」

日時：平成23年7月18日（月・海の日）

午後1時30分～午後4時30分

場所：アイメッセ山梨 展示場

（山梨県甲府市大津町2192-8）

内容：県内の博物館・美術館が集まって、自由研究や工作のヒントを提供します。参加館は、約20館です（予定）。

## 自分の生まれた日が、何曜日だったか知りたい

レファレンスの小道具

山梨県立図書館

※ 図書館では、みなさんの調べたい資料や情報を探すお手伝いをしています。このコーナーでは、皆さんから寄せられたご質問の調査・回答に使った資料を紹介します。

自分の生まれた日が何曜日だったかを調べるには…

『20世紀暦－曜日・干支・九星・旧暦・六曜－』（日外アソシエーツ編・発行 1998年）

明治6(1873)年から平成12(2000)年までの128年間の暦と、その年に起こった主な出来事や、その年に亡くなった著名人等を掲載しています。

『暦日大鑑－明治改暦 1873年～2100年－』（西沢宥綜編著 新人物往来社 1994年）

明治6(1873)年から2100年までの228年分の暦（平成7年以後は推算値）を収載しています。

「山梨日日新聞」（山梨日日新聞社）

過去の「山梨日日新聞」は、マイクロフィルムや「山梨日日新聞縮刷版」等で閲覧ができます。また平成元(1989)年1月以降はデータベースで記事検索が可能です。

# 山梨の文化財

## 国指定史跡

富士山（山梨県富士吉田市・富士河口湖町・鳴沢村、静岡県富士宮市・裾野市・小山町）  
（平成二十三年二月七日）



富士山吉田口登山道の馬返（富士吉田市）

富士山は、山梨県と静岡県境界にそびえる我が国最高峰の火山であり、その優美な姿は古くから人々に感銘を与え、「万葉集」をはじめとする文学作品の題材となるとともに、浮世絵などの絵画を生み出す源泉となってきました。日本文化の源とも言える富士山の風景は昭和二十七年に国の特別名勝に指定され保護されています。

このような富士山は「信仰の山」としても大変重要です。富士山が活発に噴火していた奈良・平安時代には浅間大神がいる山として信奉され山麓に複数の浅間神社が祀られるなど遙拝（遠くから拝み眺めること）の対象となっ

ていきましたが、平安時代末（十二世紀）には修験に関わる信仰の場ともなり、宗教者による登拝の対象となっていきました。その後、戦国時代には宗教者以外の登拝も盛んとなり、江戸時代には富士講の人々が数多く登拝する隆盛期を迎えることとなり、登山道や宿泊施設・信仰施設が整えられ、麓には御師集落が発達することとなります。富士山の信仰は明治時代の神仏分離令など時代の流れで目立たないものとなっていきましたが、現在の登山者の多くが山頂でご来光を仰ぐ姿には富士山信仰の痕跡があると考えることもできます。このように富士山は古代から近現代に至る我が国の山岳信仰のあり方を考える上で重要であることから、信仰の中核となってきた山頂部と山麓の各社寺、吉田口登山道が国史跡としてこのたび新たに指定されました。

## 主な行事予定

### 県立美術館

#### 特別展

「ムーミンと仲間たち」作家トーベ・ヤンソンからのおくりもの  
7/9～8/28

### 県立博物館

#### 企画展

「歴史の中の昆虫たち」  
大昆虫博覧会  
7/9～8/29

### 県立考古博物館

#### 夏季特別展

「大陸から伝わった器」  
山梨の須恵器Ⅱ  
7/16～8/31

### 県立文学館

#### 夏の企画展

「手紙を書こう」  
作家の手紙をお手本に  
7/23～8/28

## 表紙を飾る



市川三郷町立三珠中学校  
第1学年  
松永有加

作品タイトル  
「大塚の空」

屋上に上ると甲府盆地や八ヶ岳の山々がきれいに見えます。私は、学校の近くのブドウ畑とその上に広がる空を描くことにしました。空は6時間ぐらいかけて描きました。厚いボール紙に何度も何度も色をぬり重ねていくうちに、太陽の光がうっすらと見えるやさしい空の感じを表すことができました。大塚の土は「のっぴい」といわれるやわらかい土です。そこに白いコンクリートの柱が何本も立っていました。畑の様子や周りの風景、空の色を工夫して表しました。（大塚小学校第6学年の時の作品）  
指導者：塩島奈緒美 教諭

## 「声かけ あいさつ」みんなで実践!!

- ◆教育に関する疑問、質問等がありましたらお気軽に E-mail 又は FAX して下さい。  
アドレス：kyouikusom@pref.yamanashi.lg.jp FAX：055 - 223 - 1744
- ◆教育やまなしのバックナンバーがインターネットでご覧いただけます。  
URL：http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/kyouiku/46150769857.html